

# シンガポールの行事について

札幌開成中等教育学校

中田 光城

(はじめに)

## ・なぜ調査しようとおもったのか

私は、日本の文化とは全く異なる”海外の文化“とはどのようなものなのか興味があり、シンガポールに行く絶好の機会を得たため、シンガポールの文化を知りたいと考えた。私は、”国の文化が肌で感じることができるのは国の行事見ること”だと考え、「シンガポールの行事」を調べることにした。

## ・ホームステイ前に調査したこと、調査して分かったこと

私はシンガポールの行事について、主に国の公式サイトを用いて調査した。その結果、シンガポールには1月～4月に、【旧正月】【リバー・ホン・バオ】【チンゲイ・パレード】【タイプーサム】、5月～8月は【シンガポールナショナルデー】【ドラゴンボート・レース】【ハリ・ラヤ・アイディルフィットリ】、9月～12月には、【中秋節】【ディババリ】などと、様々な行事があることが分かった。

(シンガポールでの調査)

## ・調査方法

私は、行事についてホストファミリーにどのようなものなのかについて聞き、実際に参加できる行事には参加することで、日本との違いについて考察した。

## ・ホストファミリーから聞いて学んだ行事

【チンゲイ・パレード】・・・2月中旬(旧正月から1週間後の週末)に行われるイベントであり、40年前に開始された。各民族が独自の文化を表現するアジア最大のイベントであり、日本人チームが出演することもある。

【ディババリ】・・・10月下旬に行われるイベントであり、ヒンドゥー教のお正月を祝うものである。主な会場となるリトルインディアにはイルミネーションやマーケットが開かれ、全体的にカラフルなお祭りである。また、インドのダンスも見ることができる。

【クリスマス】・・・12月下旬(日本と同じ)に行われるイベントである。シンガポールは北海道とは違い雪がないため、雪をイルミネーションで表現するなど工夫がされているイベントである。

## ・実際に参加した行事



私は8月9日に行われた【シンガポールナショナルデー】に参加した。ナショナルデーでは、左のように戦闘機を使ったショーや大規模な花火を見ることができた。

テレビ番組では、独立前から現在まで特集された内容が放送されており、多くの国民がその番組を見ていた。ホストファミリーも近所の人と一緒に祝っている光景を見て、私は、シンガポールでは国民全員がナショナルデーを祝っていることを肌で感じた。

## ・考察

日本にもナショナルデーと同様の【建国記念日】がある。しかし、日本では祝日になるというだけで、日本国民がそれを祝う様子は感じられない。そのため、私は日本もシンガポールのように建国記念日に特別な番組を放送し、楽しく一体感を生み出す花火のようなイベントを実施するなど、シンガポールのように愛国心を醸成するきっかけを日本でも作り、建国記念日を祝福できる環境を作ったほうが良いと考えた。

## ・まとめ

私はシンガポールの行事を調べることで、シンガポールの文化の一端を理解することができた。さらに、行事を学ぶにあたり英語を駆使して現地の人に質問することができ、実際に行事に参加し体感することで充実した学びとなった。

## ・終わりに

今回の15日間のシンガポール留学を経て、私は外国人と話す楽しさを改めて実感することができた。また、言語が通じて会話ができるおもしろさ実感できた。バディとの会話で最初は英語が通じなく、会話が行きづまったが、終わりの頃にはコミュニケーションをとることができていた。今回の経験を活かし、今後も実践的に英語を使う機会を作っていきたい。